

平成28年度内閣総理大臣賞受賞者受賞理由概要
園芸部門

「あまおう」ブランドの確立と他産地に先駆けた取組

○氏名又は名称 福岡八女農業協同組合いちご部会（代表 田中 智）

○所在地 福岡県八女市

○出品財 経営（いちご）

○受賞理由

・地域の概要

福岡八女農業協同組合いちご部会（以下「いちご部会」）のある八女市、筑後市、広川町は、福岡県南部に位置し、東部から山間・中間・平坦農業地域に区分された総面積561k㎡の地域で、年間を通して温暖な地域である。福岡八女農業協同組合管内のいちご栽培面積は111.2ha（27年産）であり、県の33.1%を占める最大のいちご産地である。

・受賞者の取組の経過と経営の現況

いちご部会では、平成15年度に「とよのか」から「あまおう」へ品種を更新することに伴い、新たに「あまおう」のための栽培技術を開発し、「あまおう」ブランドを確立した。品種更新から4年後の平成19年度には、開発した新技術の普及による収量向上と、販売努力による高級いちごとしての価格向上により、販売金額は5,000千円/10aを超え、安定した経営となっている。

・受賞者の特色

（1）技術

いちご部会では、県やJAと連携して技術開発を行っている。炭そ病対策としての「秋期ランナー採苗技術」や、安定出荷のため生産者の事例をもとにしたいちごの中休み対策等の技術を開発し、部会員の収益向上を実現した。

（2）経営

①高級ブランドを実現した流通改革

「あまおう」が大玉果実である特徴を活かし、高級感を表現する一段詰め平パックを開発。全国に先駆けて、いちごの高級果実路線を開拓した。また、全国で初めてパッケージセンターを開設し、取引先の要望に応じた多様な商品の提供が可能となり、販路拡大に繋がった。また、パッケージセンターの開設により、これまで生産者が行っていた調製作業の大幅な削減が図られた。

②農商工連携及び輸出の取組

「あまおう」は、様々な加工品が開発されており、認知度の拡大、ブランド力向上に繋がっている。また、高級いちごとしてのブランドイメージを活かすことで、海外でも高く評価される商品であると考え、他産地に先駆け海外への輸出に取り組み、海外市場からも高い評価を受けている。

（3）女性の活躍

いちご部会女性部では、対面販売を実施して消費者の声を直接聞く機会を作り、消費者ニーズを踏まえた販売戦略を進めている。また、消費者交流会によるファンづくりにも取り組む等、生産及び販売の両方の面からいちご部会へ貢献している。

・普及性と今後の発展方向

栽培技術の確立、高級果実としてのブランド化、パッケージセンターの開設等、いちご部会の取組は全国でも新しい取組であり、他産地へも普及している。今後は、平成27年に開設した就農支援センターを核に毎年20名程度の新規就農者を育成・確保することを目標とし、組織力及び技術力等にさらに磨きをかけ、産地を維持、拡大していく。